

出願書類の記入上の注意

- ◆過不足なく記入すること。記載不十分の場合は受理できないこともあるため、注意する。
- ◆自署以外は原則パソコン入力とする。訂正する場合は二重線および訂正印を使用する。
- ◆枠内のスペースにおさまるように記入する。枠のサイズ・様式の変更はしない。
- ◆年号はすべて西暦表記とする。
- ◆「※受験番号」欄は記入しない。

| 出願書類 | 様式 | 記入方法と注意事項 |
|---------|----|---|
| 入学願書 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・氏名の記載は自署とする。　・ふりがなを忘れずに記入する |
| 履歴書 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・現住所下欄の電話番号は必ず連絡がつくものを記載すること。 自宅電話番号と携帯電話番号の両方を記載する。(無い場合は、なしと記入する) ・所属施設は正式名称を記載する。 現在、勤務していない場合は、離職中と記入する。 ・病床数は病院全体の数を記載する。 ・設置主体は下記から選択し番号を記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ①国（厚生労働省、その他） ②国公立大学法人 ③独立行政法人国立病院機構 ④独立行政法人労働者健康福祉機構 ⑤都道府県・市町村（地方自治体） ⑥日本赤十字社 ⑦済生会 ⑧厚生連 ⑨国民健康保険団体連合会 ⑩社会保険関係団体 ⑪公益法人 ⑫医療法人 ⑬学校法人 ⑭その他の法人 ⑮会社 ⑯個人 ⑰その他（明記） ・学歴は高等学校卒業からとし、学校名は学科・課程を含め正式名称を記入する。 ・看護師免許の取得に関する学歴はもれなく記入すること。 ・学歴欄に職歴を書かないこと。 |
| 実務研修報告書 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・看護師免許取得後（准看護師の期間は含めない）から<u>2020年3月末日</u>までの職歴を<u>1)認知症看護分野</u>、<u>2)認知症看護分野以外</u>に分けて記載する。 ・職位について、院内規程の正式な職位を記入する。 ・看護実務研修^{注1)}期間を記載し、連續で6か月以上の研修、進学、産休・育休及び病気療養等での休職、教育職、看護実績のない企業等の在職期間は含めない。 ・看護の実務研修期間および認定看護分野の実務研修期間は、通算勤務月数で計算する^{注2)}。<u>計算間違いのないように</u>記載する。 <p>注1) 看護実務研修とは、看護実務経験を意味する。</p> <p>注2) 勤務形態が非常勤の場合、150時間の勤務時間を実務研修1か月分として換算し、勤務月数を割り出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当した事例とは、継続的・中心的に関わった事例とする。 |

| | | |
|--------------------------|-----|--|
| 勤務証明書 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 施設長あるいは看護部門の長が発行したものとする。 現在の勤務場所で、看護実務経験通算5年以上、認知症看護実務経験通算3年以上を満たす場合は現在の勤務証明だけでよい。現在の勤務場所だけで満たない場合は、要件を満たすようにその前の勤務証明も必要となる。 専門分野の看護実績を中心に、配置された部署の特徴と実績月数を具体的に記入すること。 <p>【例】消化器内科病棟（認知症者が□%を占める） 18か月 介護老人保健施設看護部（認知症者が○%を占める） 12か月</p> |
| 推薦書 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> 枠内に記入する。 |
| 志望理由書 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> 枠内に記入する。 |
| 看護事例要約 (1事例) | 7-1 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症看護事例1事例について要約する。 認知症者および家族の個別性を踏まえ、看護過程を展開する。 |
| 看護事例要約 (4事例) | 7-2 | <ul style="list-style-type: none"> 上記以外の認知症者の看護事例4事例について必要事項を記入する。 |
| 緊急連絡先 | 8 | <ul style="list-style-type: none"> 必要事項を記載する。 |
| 受験票 | 9 | <ul style="list-style-type: none"> 必要事項を記載し写真を貼付する。 |
| 入学検定料銀行 振込控貼付書 | 10 | <ul style="list-style-type: none"> 銀行振込受領証のコピーを貼付する。 |
| 宛名ラベル(合否結果送付用) | 10 | <ul style="list-style-type: none"> 郵便を確実に受け取れる住所とし、マンション名等も必ず正確に記入する。 |
| 特定行為研修の 実習協力施設の 確認 | 11 | <ul style="list-style-type: none"> 特定行為研修の指導者は、当該区分の指導を行う医師となる。 指導者の有・無(有の場合は人数)を記入する。 各特定行為の年間症例数(概数)を記入する。 演習・シミュレーションに使用可能な研修室等の有・無(有の場合は広さ m²)を記入する。 安全管理に関する組織の主な構成員は、医師あるいは歯科医師(必須)1名の有・無と、看護師・薬剤師・その他いずれかの1名の有・無を記入する。 実習に係る緊急時の対応に係る手順を記載した文書は、当該施設で受け入れている臨地実習に係る安全管理の手順等に準ずる。 実習に係る患者の相談に応じる責任者は、患者・家族からの苦情・相談に応じる体および責任者の有・無(有の場合は、職種)を記入する。 <p>特定行為研修および実習協力施設については次を参照のこと。 https://www.mhlw.go.jp/content/10805000/000506614.pdf https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000197164.pdf</p> |
| 看護師免許証 の写し | | <ul style="list-style-type: none"> A4版に縮小コピーする。 |
| 受験票 返信用封筒 | | <ul style="list-style-type: none"> 長形3号封筒(120×235mm)を各自用意し、受験者の住所・氏名を明記し、簡易書留料金402円の切手を貼付したもの 郵便を確実に受け取れる住所とし、マンション名等も必ず正確に記入する。 |

※受験番号

(2018:様式4見本) (2018:様式4)

氏名

記入例

実務研修報告書（分野名：認知症看護）

1. 実務研修期間および内容について（※2020年3月までの職歴を記載する。）

1) 認定看護分野における看護実務研修期間

| 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | 期間 (月数) | 所属施設名 | 部署 | 職位 | 実務研修内容 |
|--|----|---|------|---|------------|----------|--------|--------|--------|
| 2008 | 4 | ～ | 2009 | 3 | 12 | ○○老人保健施設 | 認知症病棟 | 看護師 | 認知症者○% |
| 2015 | 10 | ～ | 2018 | 3 | 30 | ☆☆病院 | 神経内科病棟 | 副主任看護師 | 認知症者□% |
| | | ～ | | | | | | | |
| 「特定看護分野の実務研修内容の基準」を参照のこと。 http://nintei.nurse.or.jp/nursing/wp-content/uploads/2016/04/CN_jitumu_kijun2016.pdf | | | | | | | | | |
| | | ～ | | | | | | | |
| ①合計 | | | 42 | | | | | | |

2) 認定看護分野以外での看護実務研修期間（看護教員としての勤務は看護実践研修期間には含まない）

| 年 | 月 | ～ | 年 | 月 | 期間 (月数) | 所属施設名 | 部署 | 職位 | 備考 |
|------|---|---|------|---|------------|------------------------------|--------|------------|--------------------------|
| 2004 | 4 | ～ | 2008 | 3 | 36 | □□総合病院 | 小児科病棟 | 看護師 | 2007.6-2008.5 産休 12ヶ月 |
| 2009 | 4 | ～ | 2012 | 3 | 23 | △△市立病院 | 産科外来 | 看護師 非常勤 | |
| 2015 | 4 | ～ | 2015 | 9 | 6 | ☆☆病院 | 産婦人科病棟 | 看護師 | |
| | | ～ | | | | 1) で記入した期間は、 2) には記入しないこと | | | |
| | | ～ | | | | | | | |
| ②合計 | | | 65 | | | | | | |

計算を間違えないように、必ず確認をする

3) 看護実務研修期間の確認

| ①認定看護分野（36か月以上） | ②認定看護分野以外 | ①+②（60か月以上） |
|-----------------|-----------|-------------|
| 42か月 | 65 か月 | 107か月 |

2. 認定看護分野に関連する症例を担当した事例数

| | |
|---|-----|
| 「1-1) 認定看護分野における看護実務研修期間」において、 認定看護分野に関連する症例を担当した事例数（通算） | ○ 例 |
|---|-----|

※□教育機関チェック欄

認定看護師教育課程は、実務研修に関する要件を満たしているか入学選抜時に審査する。

免許取得後、実務研修が通算5年以上あること（上記3より）。うち3年以上は認定看護分野の実務研修の実績があること（上記1より）

「特定看護分野の実務研修内容の基準」の詳細は、以下URLより参照する。

http://nintei.nurse.or.jp/nursing/wp-content/uploads/2016/04/CN_jitumu_kijun2016.pdf